

月イチ企画

フィリピン スモーク・マウンテン

〜ごみ山で暮らす家族〜

ICAN (アイキャン)

ICANといえは"くまちゃん"というほど有名なが、フィリピンのお母さんたちが一つひとつ手づくりするティンピア。

ICANのフェアトレード事業は、パヤタスごみ処分場での2000年の崩落事故後、危険な場所で働く女性や専業主婦を対象とした生計向上事業から始まりました。

くまちゃんの作り手、女性フェアトレード団体SPNP(パヤタスの生計向上のためにがんばる母親達)はそのひとつで、地元のお母さんたちを集め、自分たちで商品をつくり販売できるよう、ティンピアを作る技術を教えるところから始まりました。はじめは顔の長いネズミのようなくまちゃんだったそう；

努力の積み重ねにより、2005年にSPNPは独立し、ICANと対等な立場に。今ではお母さんたちが地域の人々にその技術を教えるまでになっています。

いろんなゴミが集まるから有毒なガスや汚染水で感染症が広がり、ごみ山の住民に深刻な健康被害をもたらしているんじゃないか？

そうそう、それ、ごみ山で働く住民の大半が法定最低賃金の1/4から1/8しか得てないんだ！

スモーク・マウンテン(煙の山)

山積みされた巨大なゴミ捨て場のこと(自然発火し煙が立つ様子から、煙の山)。元々は、マニラ市トンド地区にあったゴミ捨て場の呼び名だったが、1995年にフィリピン政府により"貧困の象徴"との理由で完全閉鎖。ここで暮らしていたスカベンジャー(ゴミの山から、リサイクルできるものを探し売ること生計を立てる人)たちの一部は、生活するため約20km離れた"スモークバレー(煙の谷)"とも呼ばれていたケソン市パヤタスのゴミ捨て場へと移り住んだ。

そんなパヤタスで2000年、大規模な崩落事故が起きる。500世帯1000人に及ぶ犠牲者が出たといわれるこの悲惨な事故の発生直後、フィリピン政府はゴミ捨て場を封鎖。唯一の生活の糧を失った住民たちは、ゴミ捨て場の再開を求めた。彼らは処分場閉鎖による生計の喪失と立ち退きによる住居の喪失の可能性、そして生き埋めに遭う危険にさらされながら生活している。

心に暖炉のようなあたたかさを

ドキュメンタリー映画『ボバディーク・インク〜あなたの寄付の不都合な真実〜(2014年、アメリカ)』、2016年10月に名古屋でも上映されました。

長きにわたる一方的な押し付け支援が、受け手の自活力を損ない、現地の仕事を奪ってしまっている様子が、今なお1万もの支援団体が存在するハイチを例に見事に描かれています。

善意のつもりで寄付が、不本意な結果をもたらしているかも知れない(何事も最後まで見届ける責任がありますね)。相手に対する勝手な先入観、自己満足に陥っていないか？そして長期的に視ると...?を深く考えさせられました。

フェアトレードはよく寄付と間違えられます。もちろん状況により寄付支援が必要な場合もあるのですが、核心となるのは"現地の仕事づくり"、そして"対等なパートナーシップ"を"継続する"こと。そこに暮らす人、地に息づく文化、環境、素材を生かし、互いに思い合う関係を大切にしています。手作りの品々から感じるあたたかさは、きっと作り手からのあたたかいメッセージなのでしょう。

今回はフィリピンから届く、手作りのクリスマス雑貨たちと現地で仕事づくりをする団体、ICANとアクセスをご紹介します。"ごみ山で暮らす家族"と聞いて、どんなイメージを持たれましたか?? イベント行事の多い年末、日本のごみのことも考えたいですね。



〜発行〜  
フェアトレード・ショップ  
風's(ふ〜ず)  
正文館店  
名古屋市中区  
東片端 49  
(正文館書店本店2F奥)  
★地下鉄高岳から北へ  
徒歩5分  
【TEL/FAX】  
052-932-7373  
【メール】  
huzu@huzu.jp  
【ホームページ】  
huzu.jp  
こちら↑みてみて☆  
【営業時間】  
12〜18時  
(月요일休み)

名古屋フェアトレード・タウンしよう会  
(なふたうん)  
(連絡先は風'sに同じ)  
http://www.nagoya-fairtrade.net/  
ワークショップ  
やります!  
ご相談ください〜

ACCESS (アクセス)

アクセスは、首都マニラの都市スラムでの支援活動を1994年に始めました。その中でスラム住民の多くが農村の貧しさから逃れようと都市へ移り住んできたことに気づき、農村での活動も開始します。

アラバット島のペレーズはその80%が輸出用作物のココナッツ畑で、数名の地主や、政府が土地を所有。農民らは漁業もしながら働きますが、収入は決して十分とは言えず不安定です。そんなペレーズに滞在した、当時大学生だった2人が「フェアトレード事業」を立ち上げます。

生活のあらゆるところに自然素材を利用する生活スタイル、薬草に関する知識など、現在の日本では忘れ去られていく知恵がそのものが強みであることを伝え、試行錯誤を繰り返した末、ココナッツ雑貨をつくる団体「MAPAYAPA(平和)」が生まれました。その後、2013年より、クリスマスカードをつくる生産者団体「PANGARAP(夢)」も誕生。元からある団体との取引ではなく、貧しい人々を組織して生産者団体をつくり自立を目指しています。



10人中3人が小学校すら卒業できない。そんな厳しい環境で夢に向かって努力する農村の若者たち。(手づくりカードの生産者さん)

アクセスへ訪問

なふたうんのルナちゃんより現地レポート

支配の歴史をもつフィリピン。スペイン支配下では300年で100万人、アメリカの時は50年で100万人、日本の支配時は、たった3年間で100万人ものフィリピン人が犠牲になったと言われています。

それでも、彼らは「世界のどこにも良い人とわるい人がいるから」と私に優しくしてくれました。それぞれ辛い過去を持っているはずなのに、毎日決して楽な生活ではないはずなのに、出会った人々の顔にあるのはいつもとってもしてきな「笑顔」でした!

と語ってくれたニコニコ笑顔のすてきなルナちゃんでした☆

買取価格はお互いの合意のもと年に1回見直し。現在は10時間動くとコメ1kg購入できる価格に設定されているそうです

フィリピン・MAPAYAPAより  
ココナッツ殻の  
アクセス各種  
600 yen〜

フィリピン・PANGARAPより  
手づくりカード  
330 yen〜

参考: NPO法人ICAN HP・2011年現地訪問者見聞、特定非営利活動法人アクセスHP・ニュースレター・2016年現地訪問者見聞、読もまい観よまい掲載資料

読もまい

〜フィリピンの人々に学ぶ〜

①ドキュメンタリー映画『神の子たち』四ノ宮浩監督・編集(2001年、日本)

②『パヤタスに降る星-ごみ山の子どもたちから届いたのちの贈り物-』文・山口千恵子 絵・葉祥明(中央法規、2016年)

四ノ宮監督はゴミ捨て場の取材中、障害をもった子どもが多く産まれていることに気づき取材します。そのため、①の映画には水頭症の当時5歳の男の子、アレックスが登場します。愛嬌があって、とってもしてきな存在♪なんと成長した彼に②の本でまた出逢いました。監督は「(撮影)当初、「障害を持つ子どもを撮ってこの悲惨さを伝えよう」という思いが先行していたが、それはいかに日本人的な考え方を反省した」とコメントしています。

★次回の月イチ企画は...  
「FTチョコレート特集」

Happy Xmas 今、ここにいる自分(命)に感謝

自然な光沢が美しい!

Thank you for being you!!

あったか〜い手づくりの冬小物と洋服で心もほっと♪

フィリピンのお母さんたちの愛情がたっぷりまつてちよっぴり太りすぎたかも;

フィリピン・MAPAYAPAより  
ココナッツ殻の  
アクセス各種  
600 yen〜

フィリピン・PANGARAPより  
手づくりカード  
330 yen〜

フィリピン・SPNPより  
サンタくま 680 yen〜

ネパールより  
ジンジャーエール  
マサラ  
400 yen

ネパールより  
フェルトオーナメント  
2037 yen

キャンドル各種  
500 yen〜

みつろうキャンドルもあるよ

チョコレートギフト  
各種 190 yen〜

ココナッツミルク エスプレッソ  
贈ろう! フェアトレードチョコレート  
遠伝子組み換えの心配のある乳化剤や安価にするための植物油にも頼らない。丁寧に作られた、極上のチョコレート!★

ラッピング・ご予約 いつでも承ります  
Let's present it for the near and the dear ones!  
(If you want that... war is over)

おすすめレシピ

乾杯に! ☆ ジンジャーエール ☆  
くつくり方  
①グラスにハチミツ、レモン汁、マサラを入れてよくかき混ぜる。  
★スパイスや甘さはお好みで♪  
(※ハチミツの代わりに、砂糖でも可)  
②炭酸水をすずかに注ぎ、ゆっくりかき混ぜて完成!

Xmasケーキに! フェアトレード&地産地消の  
おとうふティラミス  
はいかか?  
つくり方は、お店にあります♪